

地域	長野県上田市	認定日	平成21年 6月29日	通巻番号	3 - 21 - 55
----	--------	-----	-------------	------	-------------

⑧農林漁業団体による取り組み

大人向け農村農業癒し体験と農村研修のビジネス化による宿泊業との連携

ありのままの暮らし体験による農村の癒しや研修を提供する農業者側と、この宿泊客を見込むホテルが、観光振興に取り組む

➤ 連携体

農林漁業者 (株)信州せいしゅん村(農業サービス業)

子供向け学習旅行商品の農村交流を、大人向けに農地を使って生産加工や研修に取り組み、交流人口の増大を図る。

中小企業者 (有)亀屋ホテル(宿泊業)

子供向け学習旅行に特化した設備を使って、大人向け農村交流を、教育業界・旅行業界ネットを使って売り、宿泊客増加に。

連携参加者 美ヶ原ベリー園(株)(食料品製造業)、信州大学感性工学科教授上條正義

ベリー園は無砂糖・無添加の加工技術で共同製作、信州大学は農村での癒し効果の数値を確立し、誘客に結びつける

サポート機関等 (財)上田繊維科学振興会(AREC)

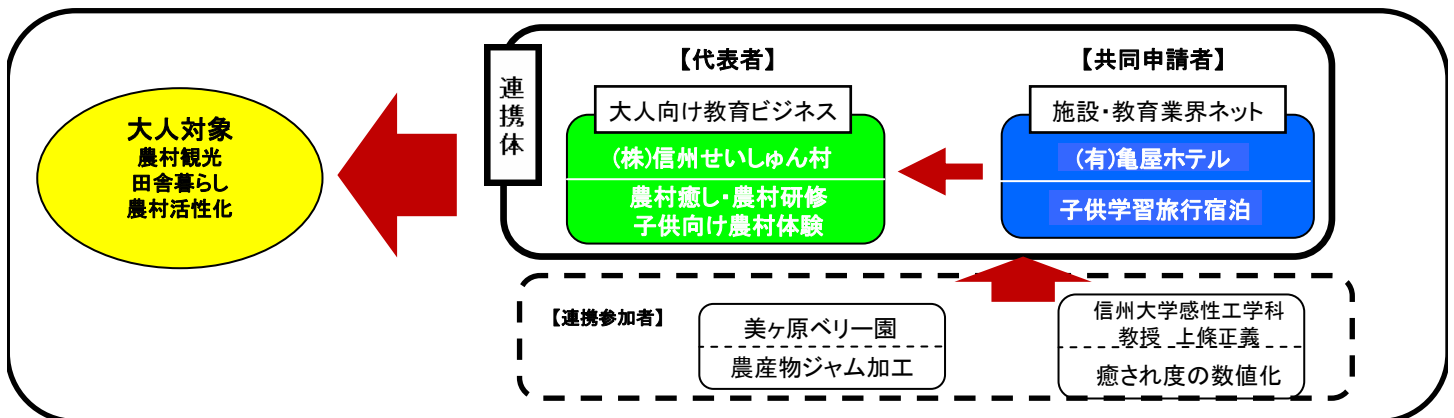
➤ 連携の経緯

(株)信州せいしゅん村は、人々を農村に招き入れることで農村活性化をしようと、日帰りの農村体験を20歳迄の子供の教育向けに開発し成果を上げて来たが、少子化と経済不況から減少してきた。一方、(有)亀屋ホテルは学習旅行専門宿泊業として業績を上げてきたが、矢張り少子化と経済不況から減少。お互いが、子供向けから大人向けの商品化を、宿泊業界のネットと、農業法人の実績と荒廃農地再生事業を活かし、構築する。美ヶ原ベリー園のジャム加工技術や信州大学感性工学科上條教授との農村での癒しの数値を、誘客に結びつける為に連携する。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

日帰りで行う『癒し体験と研修ビジネス』は、「ありのままの農村生活」の中でいい、しかも宿泊業界にダメージを与えない。農村回帰の高まりを受けても生活体験の提供は少ない。農村での癒され度の数値化は類がない。研修に活用する民間活性化活動11年の実績とノウハウは他に類例がない。



➤ 連携による効果

農林漁業者 売上高:0円(平成20年)→1,065万円(平成25年目標)

人々に観光目的で来て貰うことで山間地農村の活性化が期待され、広域地域活性化促進が期待される。

中小企業者 売上高:0円(平成20年)→1,810万円(平成25年目標)

子供向け教育旅行宿泊客の低下を、大人受入により改善を図り、観光業界の追随者が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 農業生産法人株式会社
信州せいしゅん村
TEL : 0286-85-3939
E-mail : mail@murada.com

所在地 : 長野県上田市下武石1026-2
FAX : 0268-41-4078
ホームページ : http://murada.com